

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 麻生教室 保護者等数(児童数) 21 回収数 19 割合 90 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	0	0	1		・利用者の皆さんがそれぞれが活動しやすいようにはなっています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	4	0	6	・活動している所を観ていないので判断できない。・専門性は分からないが様々な人と関わっていると思う。	・保育士・児童指導員・言語聴覚士など経験のある方も多くいらっしゃいます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	0	1	8		・段差は作りの問題もありますので、配慮しながら支援をしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	1	0	0	・面談で本人の様子をくわしく聞く事ができ、どうしていくか今後のことも一緒に考えてくれる。	・ありがとうございます。利用者の皆様に寄り添った支援を心掛けています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	2	0	1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	8	7		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	2	1	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていくか	18	1	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2	0	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	8	6	コロナ等の影響でなかなか保護者同士が会う事が難しいように思える	・ご希望を取り、多く意見があれば開催していく予定です。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	6	0	4		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	2	0	1		・当日出勤のスタッフにはお伝えはしていますが、今後もスタッフに共有し漏れが無いようにしていきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3	2	3	不定期に発信してと思う。	・Instagramにて月に一度発信しています。
14 個人情報に十分注意しているか	16	0	0	3			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	2	2	3		・今後マニュアルを作成し、配布予定です。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1	1	2		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	1	0	1	本人も以前より楽しく過ごせるようになってきていると感じる。	・ありがとうございます。今後も楽しいと思っただけのように支援していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	17	2	0	0	家族や学校のお友達、先生とは違う人と関わる大事な機会だと思う。	・ありがとうございます。

236 35 23 47

69%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 麻生教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12			
	2	職員の配置数は適切である	6	6		加配が必要な児童が多い日を把握し、スタッフを増やすなど改善していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	6		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	2		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	3	・ホームページに公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	3	・全職員に虐待防止動画視聴を義務付けています	・今、必要な課題などを研修に取り入れてるが、もう少し研修機会を増やしていきたいと思う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	12		・プログラム会議を開き、広く意見を取り入れています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12		・すたっふみんなでどんなプログラムにするか各チームごとに分れて考えてプログラムを行っています。(音楽・工作・SST・運動など)	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	4		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	・親御さんとの面談を経て支援計画を立てております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	6		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	2	・日報、HUG、支援記録	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	1	・親御さんからの意見や、月に1度の支援方針会議にて見直しをしております。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	2			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10				

関係機関 や保護者との 連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11		・下校時、担任との情報共有をしております	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2		する機会がない。しかし、今後は検討していきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	3		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	8		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	・送迎時には必ず情報共有をしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4	・面談時等に、家族支援をおこなっています。	・ペアレントトレーニング等について理解出来る様に会報などを作っていく予定です。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1	・悩みの相談があった際は迅速にアドバイスを送れています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5		今後はそのような会合も開いていきたいと思えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	3		
	35	個人情報に十分注意している	11	1		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12			
非常時 等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	3		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	3	・事務室のみ見えるところに貼り、スタッフには周知出来る様にしている。	・資料を作成し、お配りする予定です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	1	・年二回避難訓練をおこなっています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2	・年に一度虐待防止動画視聴を全職員に義務づけています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	・児発管の方が必要だと感じたらスタッフ間で話し合い、それを元に保護者様に丁寧に説明し、記入している。	

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1	ヒヤリハットが起きた際は、スタッフで話し合い、今後どうしていくかかんがえている。	